

## 第 24 回サマーセミナー報告

2024 年 8 月 24 日 組織調査部 小田耕司

第 24 回サマーセミナーは、ゲルベ・ジャパン株式会社との共催で、2024 年 8 月 24 日(土) 電気文化会館にて開催されました。

参加者は 51 名(会員 51 名、非会員 0 名)でした。その他、ゲルベ・ジャパン株式会社より 5 名の方々のご協力をいただきました。

特別講演1は、福井大学医学部附属病院 放射線部 診療放射線技師長 立石敏樹 先生に「画像等手術支援 ～鍵を握る診療放射線技師のタスク～」というタイトルで、診療放射線技師がより精細で正確な画像情報を提供し、より精度の高い治療・手術につなげるという取り組みについて懇切丁寧にご講演いただきました。合言葉は「アトラスベースからイメージベースへ」です。最先端の装置・機器を駆使し、日々質の高い業務をしておられました。また、K939 画像等手術支援加算取得、画像等手術支援認定技師資格制度、タスクシフトの実現と要員確保についても積極的に取り組まれていることをご紹介いただきました。

特別講演2では群馬大学大学院医学系研究科 放射線診断核医学 教授 対馬義人 先生に「安全とはどういうことか」というタイトルで講演していただきました。講演では、それぞれのトピックに物語があり、我々聴衆はその世界に引き込まれました。先生の言葉が、参加者の心に強く刺さったと思います。また、ともすると言語明瞭意味不明になりがちな医療安全の用語をわかりやすく解説いただきました。Take home message として多くの事柄がありましたが、特に次の2点が印象に残りました。1点目は「アナフィラキシー発生時にはアドレナリン筋注」。アナフィラキシー発生時には、できるだけ早くアドレナリンを筋注することが求められます。2点目は「安全とは動局的である。動局的を継続的に追尾せよ。」です。安全はバーチャルであるため、安全確保を継続することが肝要とのことでした。また、我々診療放射線技師に対する大きなエールをお送りいただきました。

